

2027 年度 武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部
総合型選抜第1回の「プレゼンテーション」

試験科目

①プレゼンテーション (60 点)

以下のテーマについて、面接者（2名）の前で、約3分間のプレゼンテーションをしてもらいます。
その後、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答の時間があります。

テーマ

「自分が外国に留学したときに、日本人として伝えたいこと」

テーマの主旨

近年、インバウンド需要の拡大や SNS の普及により、日本文化への国際的な関心はかつてないほど高まっています。海外の SNS では日本の食・伝統・アニメ・おもてなしの文化などが頻繁に取り上げられ、日本を訪れる外国人も年々増加しています。一方で、外国の人々が日本について抱くイメージは、必ずしも日本人自身が大切にしている価値観や文化を正確に反映しているとは限りません。表面的な「クールジャパン」のイメージだけでは伝わらない、日本人の日常に根ざした考え方や習慣、心のあり方というものが確かに存在します。

そこであなたには、自分が海外に留学したと仮定し（留学先の国は自由に設定して構いません）、現地の人から「日本ってどんな国？」と聞かれた場面を想定してもらいます。日本人として日頃から大切にしている礼儀や習慣、考え方（価値観）、文化などの中から、特に相手に伝えたいことを1つ選び、その理由と共にプレゼンテーションをしてもらいます。その際、相手が日本についてより深く知りたいと感じるよう、具体的なエピソードや身近な例を交えながら、わかりやすく魅力的に伝えることを意識しましょう。

ただし、面接者の前で行うプレゼンテーションですから、あなた自身にしか分からない言葉を用いる、説明が不十分であるなどの場合には、高い評価を得ることはできません。あなたの興味・関心に詳しいとは限らない面接者に対し、理解してもらえるように工夫しましょう。したがって、「日本人として伝えたいこと」を象徴する写真や絵、音などのツールを自由に用いてください。また、動画の作成なども歓迎します。創意工夫を凝らして理路整然と順序立てて話すようにしましょう。